

こどもと地図 3年

地図 with ご当地給食

せんべい汁

小麦粉から作られる、ほんのり塩味の南部せんべいは、南部藩ともいわれる旧盛岡藩・八戸藩地域(青森県東部から岩手県北部を中心とした地域)の伝統的な保存食。青森県八戸市では、この南部せんべいを使った郷土料理「せんべい汁」が有名です。

南部せんべいを具材に
(農林水産省「うちの郷土料理」)



(上) せんべい汁を配膳する当番
(右上) 給食を味わう児童たち
(右下) 手前がせんべい汁



地図帳p.27

東北地方の太平洋沿岸では、稲の成長期である6～8月に「やませ」という冷たく湿った北東の風が吹くことがあります。そのような年は米が育ちにくいので、南部せんべいなど、小麦を使った保存食が昔から食べられてきました。また、青森県南東部の三本木原(地図帳p.74)では、水はけのよい土壌と冷涼な気候を生かした、にんじんやごぼうなどの生産がさかんです。それらの根菜やしめじ、鶏肉を煮干しだしで煮て、しょうゆなどで味付けした後、せんべいを割り入れてさらに煮込むと、せんべい汁の完成です。

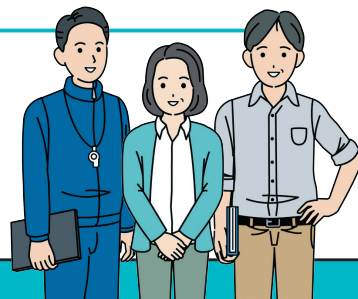
青森県八戸市の学校給食でせんべい汁が提供されるようになったのは、煮ても崩れにくいせんべいが商品

化された平成8年ごろからです。地元食材を使ったせんべい汁は人気メニューの一つで、八戸市立小中野小学校の子どもたちは次々におかわりをしていました。栄養士さんたちは、郷土料理を好きになってもらおうと、味付けや食感などを工夫しています。その熱意が伝わるのか、子どもたちは給食をおいしそうに食べていました。せんべい汁は家庭でもよく食べるとのこと。せんべいの食感はやわらかめ、かためと好みが分かれるそうです。また、八戸は港町のため、せんべい汁にサバ水煮缶を入れて作る家庭もあります。

取材協力：八戸市立小中野小学校 校長 河村雅庸先生、
八戸市立学校北地区給食センター 栄養教諭 小向明さん 取材日：2026年4月28日
※給食のレシピのリンクを帝国書院Webサイトに掲載しています。
全国のご当地給食をご紹介します当記事の取材先を募集しています！

3年担当の先生で
ご回覧ください。

--	--	--	--	--



スーパーマーケットで販売する商品の産地について世界地図を用いて調べ、スーパーマーケットは外国から品物を仕入れ、お客さんの願いに応える品ぞろえの工夫をしていることを理解しましょう。

商品はどこから来ている？

～やさしい世界地図の活用～

●東京都 新宿区立淀橋第四小学校 主幹教諭 香取桜子

問い

スーパーマーケットの
商品はどこから来ている？
世界地図の産地に
商品名を
書きこんでみよう。

☑ 児童が店舗見学で撮影してきた商品と産地表示



1

スーパーマーケットの商品の産地を世界地図から見つけてみよう

3年生の「わたしたちの暮らしと店の仕事」の学習では、店の販売の工夫だけでなく「店で販売する商品について、産地を調べ、私たちの生活は外国や国内の他地域とつながりがあることを理解する」という事項があります。本実践では、まずはスーパーマーケットを見学した際に児童が撮影した写真から、売っている商品の産地を読み取ります。そして国内だけでなく、国外からも商品が届けられている事実を知り、地図帳の巻頭にある「①地図で世界発見!」を活用して、産地に商品名を直接書き込む活動を設定しました。児童は、商品リストに沿って地図で産地を調べていきます。このときチラシを使うこともできますが、さまざまな国からお客のニーズに合わせて商品が届けられていることや珍しい商品も届けられていることなど、狙いに即した商品を扱わせたいため、見学時に児童がタブレットで撮影した写真の中から教師が商品を選んでリストを作成しました。リストは、3年生の実態に合わせて2枚用意し、早く調べ終わったら、次のリストを取りに行けるようにしました。児童は「遠くから来ている」「この国からも来ている」と進んで調べていきます。



メキシコ産であることがわかる商品のPOP



産地に商品名を書き込む児童

例) グレープフルーツ…南アフリカ共和国

はちみつ…カナダ パイナップル…フィリピン など

児童の実態に合わせた個別最適な学びを実現するため、学習形態は1人でも複数でも、まとめるのは紙の地図帳でもQRコンテンツの地図でもよいこととし児童が自分で選択できるようにしました。児童は席が近くの友達と「マンゴスチンはタイ産だよ」「インカバナナのペルー産がここにあるよ」「国旗も見つけたよ」などと自然と情報共有して協働的に調べていました。



協働して取り組む児童

2

調べたことを発表しその国の位置や名前、国旗について確かめる

この活動は、外国との関わりをつかむとともに、地図で調べることや、調べた内容を白地図などにまとめる技能を身に付けることにつながります。書き込んだ地図を学級全体で共有する際に、矢印でつなげていくと外国からさまざまな商品が届けられていることが理解できました。「赤道からも届いている」という児童からの気づきも出ました。



気づいたことをまとめた板書と、商品がどこから来たのかを表した地図 (ICT活用: デジタル地図帳をホワイトボードに映し、産地を書き込み、学級全体で共有した)

3

話し合ったことをもとに、学習で分かったことをまとめる

さらに、外国から商品が届くのは、スーパーマーケットが「お客さんのため」「よりよい商品を販売するため」「店の売り上げのため」に行っているということに気づかせると、外国との関わりの意味についても考えさせることができるでしょう。この活動によって、3年生からの地図帳の効果的な活用が大切だと改めて感じました。これ以降、教師が何も言わなくても「地図帳で調べてみよう」という児童が増えました。3年生から地図帳を繰り返し活用することで、地図帳がいつでもどこでも見ることができ、用途に応じて活用できる身近なツールとして児童の学びにおける選択肢の一つとなり、個別最適な学習につながっていくことでしょう。

本記事はアプリ「帝国書院」に掲載した内容に加筆したものです。

アプリ「帝国書院」*では他にもたくさんの地図帳活用例を紹介しています!

*あらかじめ「帝国書院」Webサイトに会員登録が必要です。



帝国書院

アプリ
ダウンロードは
こちらから

App Store



Google Play



今日から使える！
デジタルコンテンツ
QRコンテンツ

地図記号クイズに チャレンジしよう

地図記号
クイズは
こちら



地図帳p.13のQRコードを読み取るか、QRコンテンツのトップページから「地図クイズ」を選択



「地図記号クイズ」を選択します



地図記号を見て、名称を3択から選びます



正解！全31問のクイズにどんどん挑戦しましょう

3年生では、地図のなりたちや表記方法を知り、地図に慣れることから始めましょう。地図帳p.14の「いろいろな地図記号」で、地図記号やその由来を理解したら、QRコンテンツの「地図記号クイズ」にチャレンジしてみてください。

それぞれの地図記号が何を意味するのか、瞬時に答え合わせができるシンプルなクイズです。回答ページでは、実際の地図中での使用例や、記号のもととなったものがイラストで紹介されており、楽しみながら地

図記号に親しむことができます。クイズは全31問。途中でやめて、問題の順番が異なる新しいクイズに挑戦することもでき、隙間学習にぴったりです。

ちなみに、帝国書院の地図帳で使用されている地図記号は、国土地理院が定める図式をもとに作成したものであり、国土地理院の地図記号と完全に同じではありません。地図帳で使われている地図記号の意味を知りたいときには、常に地図帳p.17-18の凡例に立ち返り確認していくように指導しましょう。

わくわく授業づくり！こどもと地図 3年 2026年度後期号
2026年8月20日発行 (No.75) ©Teikoku-Shoin Co.,Ltd.2026

発行所 東京都千代田区
神田神保町3-29 (〒101-0051)
株式会社帝国書院

発行人 守屋 智央
電話 03-3262-4795 (代)
<https://www.teikokushoin.co.jp/>

本誌に掲載している地図帳は、令和5年検定済「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」です。

〈QRコード使用上の注意〉QRコードを読み取って表示されたサイトにアクセスした際には、別途通信料がかかる場合があります。

〈本誌掲載の他社商標について〉

・QRコードは、株式会社デンソーウェーブの商標または登録商標です。・その他の会社名および製品名・ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。

『わくわく授業づくり！こどもと地図』は
Webサイトからも読むことができます。

こどもと地図についてのご意見・ご感想はこちらまで



教授用資料